

— 実証分析の再現性を担保するために、
どのような開示・検証の仕組み・実践が必要なのか

実証論文レプリケーション ワークショップシリーズ



Lars Vilhuber教授 (アメリカ経済学会 初代データエディター)

コーネル大学経済学部教授。American Economic ReviewおよびAmerican Economic Journalsの初代データエディターを2018年より務める。他社会科学分野のジャーナルのデータエディターと協力してData and Code Availability Standardを設定するなど、実証分析の再現性向上のための制度と資料整備に取り組む。労働経済学およびマクロ経済学が専門であり、Labor Dynamics Instituteディレクターを務める。データの公開に関するプロジェクトにおいて、北米・欧州の各国統計局に顧問として助言をしている。

9月12日(火) 10:25-12:10 講演「論文再現性の実践と課題」 @ 東京大学 小島ホール

9月16日(土) 9:30-11:30 日本経済学会講演「論文再現性の実践と課題」 @ 関西大学

9月19日(火) 9:00-16:00 論文再現性トレーニング @ 大阪大学豊中キャンパス OSIPP棟

9月20日(水) 9:00-16:00 論文再現性トレーニング @ 東京大学 小島ホール

- ◆ 講演「論文再現性の実践と課題」では、再現性の概念や経済学ジャーナルにおけるデータやコード公開と検証の歴史や制度をふまえ、現在残されている課題を議論します。
 - ・ 9月16日(土)講演後、第2学舎2号館C207で自由参加のランチ座談会を開きます。
- ◆ 「論文再現性トレーニング」では、多くのジャーナルで標準的に求められるレプリケーション・パッケージの作り方を実践的に学びます。ファイルの構造やREADMEファイルについて考え、実際にレプリケーション・パッケージの作成に取り組みます。
 - ・ 「論文再現性トレーニング」に参加するためには、**事前申し込み**が必要です。フォーム(<https://forms.gle/rNgRRkpULVUKmz3d7>)から、**8月21日(月)24:00までに申し込みをしてください。**
 - ・ 大阪・東京それぞれの参加者を上限15名とします。多くの応募があった場合、抽選で決定し、後ほど連絡をします。
- ◆ お問い合わせ先 … replication.workshops.jp@gmail.com

トレーニング

参加申し込みURL



- 共催: 東京大学大学院 経済学研究科附属 政策評価研究教育センター (CREPE)、日本経済国際共同研究センター (CIRJE)、大阪大学大学院国際公共政策研究科附属 EBPM研究センター (CEPO)
- 協賛: 科研費 国際共同研究加速基金 (国際先導研究)